

用語説明（案）

索引	用語	説明
A	AI (エーアイ) (p45)	人工知能 (artificial intelligence) の略で、これまで人間にしかできなかった知的な行為を、どの様な手順とどのようなデータを準備すれば、それを機械的に実行できるか研究する学問分野。一つのことの特化した「特化型人工知能」と、与えられた情報をもとに自ら考え、応用することができる「汎用人工知能」がある。
B	B. B. BASE (ビービーベース) (p41)	房総自転車基地 (BOSO BICYCLE BASE) の略で、JR東日本が運行している「のって楽しい列車」と呼ばれる鉄道車両の一種。自転車を電車に積んで房総に向かうサイクリストの増加に伴い、サイクルトレインの専用車両として平成30年1月に導入された。座席の背後に自転車を縦置きできるサイクルラックが配置されている。
I	ICT (アイシーティー)	インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー (Information and Communication Technology) の略で、IT (情報技術) の概念をさらに一歩進め、IT に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉で、情報通信技術を指す。
M	MaaS (マース) (p61)	モビリティ・アズ・ア・サービス (Mobility as a Service) の略で、ICTを活用して交通をクラウド化 (インターネットを通じて必要なサービスを利用できるようにすること) し、公共交通か否か、またその運営主体に関わらず、マイカー以外のすべての交通手段による移動を一つのサービスとしてとらえ、シームレス (途切れないよう) につなぐ新たな移動の概念。
S	SNS (エスエヌエス)	ソーシャル・ネットワーキング・サービス (Social Networking Service) の略。会員制のサービスで、参加するユーザー (利用者) どうしが互いに自分の趣味・好み・友人・社会生活などのことを公開し合ったりしながら、幅広いコミュニケーションを取り合うことを目的としたコミュニティ型のWeb サイトサービス。フェイスブックやツイッター、インスタグラムなどがある。

索引	用語	説明
U	UJIターン (ユージェイアイ)	都市部から地方に移住する動きの総称。Uターンは出身地に戻る形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態を指す。
W	Wi-Fi (ワイファイ)	無線通信を利用してデータの送受信を行うためのコンピュータネットワークシステムの規格のひとつ。
あ	赤ちゃんの駅	乳幼児を連れた保護者が、外出中に安心して自由に授乳やおむつ替えができる設備を備えた公共施設や民間施設等。
	空き家バンク制度 (p39)	移住・定住を促進するため、市内の空き家所有者から物件の情報を提供してもらい、ホームページなどに登録する制度。空き家を有効活用することにより、地域活性化を図るとともに、空き家提供者と入居希望者とのマッチングを行う。
	アルファ米	炊いたご飯を乾燥させたもの。長期間の保存が可能で、お湯や水を注ぐだけで食べられる。
	安全・安心メール (p61)	防災・防犯・消防などの緊急情報を、あらかじめ登録した携帯電話などにメールでお知らせする。平成18年から配信をスタートした。
	イノベーション (p33)	新製品の開発や新生産方式の導入、新市場の開拓、新原料・新資源の開発、新組織の形成などによって、経済発展や景気循環をもたらされるとする概念。革新、または新機軸と訳されるが、狭義には技術革新のことを指す。
	インバウンド	外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。
	エシカル消費 (p60)	地域の活性化や雇用なども含む、人や社会、環境に配慮した消費行動のこと。具体的には、障害者支援につながる消費、フェアトレード商品、寄附付きの商品など人や社会に配慮した商品、エコ商品やリサイクル商品、地産地消や被災地産品など環境に配慮した商品で、社会的課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。

索引	用語	説明
	エンパワーメント (p33)	社会や組織のひとりひとりが、発展や改革に必要な力をつけるという言葉の意味。女性の権利獲得運動のなかで使われるようになった。
か	関係人口 (p39、43、51)	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様な関わりを持つ者。人口減少や高齢化による、地域の担い手不足という課題を解決する担い手として期待されている。
	キャッシュレス化 (p50)	クレジットカードや電子マネー、スマートフォンの決済アプリ等を利用して、紙幣や硬貨といった現金を使わずに支払い・受取を行う方法。経済産業省は、将来的に国内のキャッシュレス決済比率を世界最高水準の 80%にすることを目指している。
	グリーンツーリズム	緑豊かな農村地域において、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の観光。
	元気な広場	乳幼児とその保護者が自由に利用することができる屋根付公園として、平成 21 年 4 月に開館した子育て支援拠点施設。「ファミリー・サポート・センター」を併設している。
	恋人の聖地	NPO法人地域活性化支援センターが主催する「恋人の聖地プロジェクト」により、プロポーズにふさわしい場所として選定されたスポット。館山市は「恋人の聖地／鏡ヶ浦から富士の見えるまち 館山」として、平成 27 年 7 月 1 日に認定されている。
	コミュニティ医療	市民の健康寿命を延ばすため、市民・医療・福祉関係者及び行政関係者が市域を越えて連携し、共に考え、共に実践する共同体として、これからの医療、福祉、健康の課題に対して一体的・総合的に取り組むことを基本概念とするもの。

索引	用語	説明
	合計特殊出生率	1年間における出産可能年齢（15～49歳）の女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。
	コワーキングスペース (p49)	事務所スペース、会議室、打合せスペースなどを共有しながら独立した仕事を行うことができる場所。異なる職業や仕事を持った人たちが同じスペースで仕事を行うことにより、さまざまなメリットが生まれる。
さ	サイクルツーリズム	自転車に乗って地形・自然・景色などを楽しむ、スポーツと観光を融合させた観光。
	サテライトオフィス (p37、49)	企業または団体の本拠から離れたところに設置されたオフィス。本拠を中心として見た時に、惑星を周回する衛星のように存在するオフィスとの意から命名された。サテライトオフィスの開設を検討している企業向けに、総務省は「お試しサテライトオフィス」事業を推進している。
	スマート農業 (p45)	ロボット技術やICTを活用して、省力化・精密化や高品質化の実現を推進する新たな農業のこと。農業の担い手の高齢化や労働力不足が深刻となっており、スマート農業を活用することによって、新規就農者の確保や栽培技術力継承等が期待される。
	シティセールス	市の魅力を対外的に売り込むこと。（「シティプロモーション」との明確な使い分けはなく、同義的に使用することも多いが、ここでは「既に存在する」市の魅力を「対外的に」売り込むことを主眼とする場合に使用する。）

索引	用語	説明
	シティプロモーション	地域資源に磨きをかけ、市の新たな魅力を創出するとともに、市内外へ情報発信し、知名度とイメージの向上を図ることで、交流人口の増加や市民の「地域への誇りと愛着心」の醸成につなげることを目的とした活動。（「シティセールス」と同義的に使用されることも多いが、ここでは、市の「魅力創出」に対する取組や、「対内的な」視点も含むものとして使用する）
	ジェンダー (p33)	生物学的な性差（sex）に対して、性別に基づいて社会的・文化的に要求される役割などの社会的性差を指す言葉として用いられる。時代や文化によってさまざまに異なることが知られている。
	集落支援員 (p51)	地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材が、地方自治体からの委嘱を受け、市町村職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を実施する総務省の制度。
	出張子育てひろば	「元気な広場」の出張版として、各地区（令和元年度現在：船形・九重・房南の3箇所）に「元気な広場」のスタッフが出向き、母親どうしの交流や子ども達の遊び場を提供するもの。
	純移動率	ある期間、ある人口に対する転出入の移動数の比率として計算される統計数値。
	人口置換水準	人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率（用語説明参照）の水準のこと。
	スタンドアップパドルボード	サーフボードの上に立ったまま乗り、オール（パドル）を使って漕ぐマリンスポーツ。略して SUP（サップ）と呼ばれている。
	多文化共生社会 (p60)	国籍や民族、宗教、言語など、異なる文化を持つ集団が存在する社会において、それぞれの集団が互いの文化的な違いを認め、対等な関係を築こうとしながら、ともに生きていくという考え方や政策。

索引	用語	説明
た	地域おこし企業人 (p51)	地方公共団体が、三大都市圏に所在する民間企業等の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を活かし、地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に従事してもらう総務省のプログラム。
	地域おこし協力隊	地方自治体が募集を行い、意欲ある都市住民を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらうことで、その定住・定着を図るとともに、地域の活力を維持・強化することを目的とする。 3大都市圏、政令指定市等から過疎地などへの移住・定住を促すため、総務省が平成21年度に創設した制度。
	地域商社 (p44)	認知度が低いものの、魅力ある農産品や工芸品など、地域に眠る優れた産品・サービスのマーケティング・販路開拓を行うことで、従来以上の収益を引き出し、そこで得られた知見や収益を生産者に還元していく組織。地域資源の市場開拓の司令塔を担う。
	地域人材ネット (p51)	先進市町村で活躍している職員や民間専門家を広く知ってもらうためのデータベース。地域人材ネットに登録した、通称「地域力創造アドバイザー」を招へいし、地域独自の魅力や価値を向上させる総務省の取組。
	地域包括ケアシステム	高齢者に対して、介護が必要になっても、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の5つのサービスを、関係者が連携・協力して、一体的に提供する仕組み。
	地産地消推進店	館山産の安全で新鮮な農水産物を積極的に消費者に提供するなど、地産地消を推進している直売所や飲食店などで、「館山市地産地消推進店」として登録したもの。

索引	用語	説明
	定住自立圏構想 (p62)	人口定住のために必要な生活機能の確保に向けて、中心市（人口4万人超、昼夜人口比率1以上ほか）と近隣市町村が1対1で、「生活機能の強化」、「結びつきやネットワークの強化」、「圏域マネジメント能力の強化」の観点から連携する取組。平成21年4月から全国展開し、当市は令和元年9月27日に「中心市宣言」を行った。
	デュアルワーク (p39)	地方と都市部など、2つの地域や2つの企業、2つの職種で仕事をするという新しい働き方。空き家やシェアハウスなどを活用し、2つの地域での生活を楽しむデュアルライフ（二拠点生活）とともに、フリーランスの仕事をしている人から注目されている。
	テレワーク (p39、40、50)	ICTを活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。「tele＝離れたところ」と「work＝働く」をあわせた造語で、働く場所によって、自宅利用型テレワーク（在宅勤務）、モバイルワーク、施設利用型テレワーク（サテライトオフィス勤務など）の3つに分けられる。
	電子黒板	文字や図、イラストなど、ボード上に書き込んだ内容を電子変換することで、プリンタ出力やデータ保存、スキャン送信が可能となったホワイトボードのこと。
	トップセールス	市長自らが宣伝マンとなって、市の特徴や優位性、地域の産物・産業を、他地域・企業等に売り込むこと。
な	二地域居住 (二拠点居住)	都会に暮らす人が、週末や一年のうちの一定期間を地方で暮らすなど、2つの地域に生活拠点を持つ生活形態。

索引	用語	説明
	日本版CCRC (シーシーアールシー)	<p>CCRCは、米国発祥のコンティニューイング・ケア・リタイアメント・コミュニティ (Continuing Care Retirement Community: 継続介護付きリタイアメント・コミュニティ) の略。</p> <p>日本版CCRCは、老後を地方で暮らしたいという、東京圏を中心とした高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康で活動的な生活を送るとともに、医療介護が必要になった時も住み替えることなく、継続してケアが受けられる地域づくりをすること。</p> <p>東京圏の高齢化問題を解消しつつ、地方への人の移動を促進しようという意義を含んでいる。</p>
は	パブリシティ	<p>プレスリリース (報道機関への発表) などにより、事業等に関する情報を積極的に報道機関に提供し、ニュースや記事として報道されるように働きかける広報活動。</p>
	ビーチコーミング	<p>海岸の砂浜に打ち上げられた漂着物 (流木や貝殻、サンゴ、丸石、ウニ、ヒトデ、ガラスの破片など) を観察、収集すること。漂着物は標本にしたり細工を施したりして楽しむ。</p>
	ファミリー学級 (p52)	<p>これまでパパ・ママ学級、うまうま学級として行っていたものを1つにしてファミリー学級としてリニューアルした。妊娠・出産・育児について学ぶとともに、離乳食づくりなども行い、子育ての仲間づくりもできる。</p>
	ファミリー・サポート・センター事業	<p>育児の手助けをしてほしい人と育児の手助けができる人が会員となり、会員どうして助け合う子育て支援活動事業。</p>
	フィルムコミッション	<p>映画、テレビドラマ、CMなどのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、撮影をスムーズに進めるための支援をする機関。</p>

索引	用語	説明
	フェアトレード (p60)	開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す貿易のしくみ。コーヒーやチョコレート、コットン製品などの多くが開発途上国で生産されており、正当な対価が生産者に支払われなかったり、必要以上の農薬が使用され、環境が破壊されるなどの事態が発生している。
	復興支援員 (p51)	被災者の見守りケア、地域おこし活動の支援等の「復興に伴う地域協力活動」を通じ、コミュニティの再構築を図る総務省の制度。地方公共団体が定める復興計画やそれに基づく要綱等を根拠とし、被災地域内外の人材を委嘱する。
	ブルーツーリズム	漁村地域に滞在し、漁業体験や海辺での生活体験を通して、地域との交流を深め、海の魅力を楽しむ観光。
	フレイル (p59)	加齢により心身が老い衰えた状態のこと。早く介入して対策を行えば、元の健常な状態に戻る可能性がある。
	放課後子供教室	小学校の余裕教室等を活用し、地域住民の協力によって、放課後に、子供たちが学習やスポーツ・文化活動等ができるように支援する取組。
	ポートセールス	港の管理者が関連企業等に自らの所有する港のメリットを説明し、船舶や貨物の寄港を誘致すること。
ま	孫ターン	都市部から地方へ、両親いずれかの出身地に、親世代を1世代飛ばして移住する孫たちの動きのこと。
	みなとオアシス	海浜・旅客ターミナル・広場など、みなとの施設やスペースを活用し、住民参加型の継続的な地域振興を行う交流拠点について、申請に基づき、国土交通省が認定を行うもの。

索引	用語	説明
	モニターツアー (p40)	モニター（商品等について意見・批判を述べる人）を依頼する者が旅行費用の一部を負担することを条件に、一般のモニターを募集し、旅行内容などについての調査報告をしてもらう旅行の一形態。
ら	ライフ・ワーク・バランス（ワーク・ライフ・バランス） (p54)	働くすべての方々が「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。
	リリース	ここでは、報道機関に対してニュースや情報を発表すること。
	リノベーション (p36、49、50)	<p>既存の建物を改修することにより、住まいの性能を新築の状態よりも向上させたり、価値を高めたりすること。リフォームが原状回復のための修繕である一方、リノベーションは機能を刷新し、新しい価値を生み出す改修とされている。</p> <p>空き店舗が増加している中心市街の不動産を最小限の投資でよみがえらせ、創意あふれる事業者を集めて再生するリノベーションまちづくりの取組が各地で始まっている。</p>
	レガシー（遺産）	ここでは、オリンピック・パラリンピック開催を契機とした各種基盤整備やスポーツ振興、それに伴う生活の利便性の向上、市民の健康増進など、ハード・ソフト両面において、長期的で持続的な効果を社会に生み出し、次世代に残していくこと。
	レジリエント (p33)	強じんであること、強くしなやかで粘りあること。また、速やかに元の状態に回復する能力・性質のこと。
	6次産業化	農林水産物を収穫・漁獲（第1次産業）するだけでなく、加工（第2次産業）し、流通・販売（第3次産業）まで手がけること。